

百舌鳥・古市古墳群に魅せられて —調査と研究の最前線—



【調査報告】

「唐櫃山古墳の調査成果」

藤井寺市教育委員会文化財保護課 泉真奈

「峯ヶ塚古墳の造出しの調査成果」

羽曳野市教育委員会文化財課 米田拓海

「津堂遺跡の発掘調査—津堂城山古墳にかかわる倉庫群の発見」

大阪府教育庁文化財保護課 原田昌浩

【講演】

「『明治五年大仙陵絵図』をめぐる人々と『大仙陵』の実態」

鹿児島大学総合研究博物館教授 橋本達也 氏

【日時】3月18日(土) 13:00～16:00 (開場 12:00) 【会場】藤井寺市立市民総合会館(パープルホール) 大ホール

藤井寺市北岡 1-2-3 (藤井寺駅下車 徒歩 10分)

※ご来場にあたっては、公共交通機関をご利用ください。

下記の方法のいずれかで申込。【定員】570人(要事前申込・先着順) 【費用】無料 【締切】2月28日(消印有効、ただし定員になり次第締切り)

・インターネットの申込フォーム

・往復はがきで、参加者の氏名(複数の場合は全員。4人まで)、代表者の住所と電話番号を明記し、返信はがきの宛名に代表者の氏名・住所を記して、百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議事務局まで



百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議事務局

〒559-8555大阪府住之江区南港北 1-14-16 大阪府咲洲庁舎 37階

☎06-6210-9742、FAX06-6210-9316

「百舌鳥・古市古墳群」 世界遺産シンポジウム

世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」のすばらしさをみんなの手で —今こそ学び、伝えよう価値と魅力—



2つの大震災と文化遺産の役割—震災復興工事と文化財保護のはざままで—
山本 誠 氏 公益財団法人兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部次長



市民とともに、文化財を守り、伝えて
安村 俊史 氏 柏原市立歴史資料館館長



世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の価値や魅力を伝えるために
—多様なアプローチに支えられて—
松木 武彦 氏 国立歴史民俗博物館研究部教授・総合研究大学院大学教授



パネルディスカッション
世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の
すばらしさをみんなの手で

パネラー 山本 誠・安村 俊史・松木 武彦
進行 伊藤 聖浩(羽曳野市教育委員会 文化財課)

【日時】令和5年2月19日(日) 13:00～16:30 【会場】羽曳野市立生活文化情報センター LIC はびきの ホールM
大阪府羽曳野市軽里 1-1-1 (近鉄南大阪線 古市駅下車 西に約15分)

【定員】350人(要事前申込・先着順) 【費用】500円(資料代)

【申込】はがき、またはメール。氏名、住所、連絡先(電話番号)を明記。1通のはがき、またはメールで5人まで(参加者全員氏名と代表者の住所と連絡先)。
※電話申込不可。

【申込・問合せ先】羽曳野市教育委員会 世界遺産課 〒583-8585 大阪府羽曳野市誉田 4丁目1-1 メール sekaibunka@city.habikino.lg.jp
☎072-958-1111 (内線 4400・4401・4481)

<主催> 羽曳野市世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」保存・活用実行委員会
(NPO 法人フィールドミュージアムトーク史遊会、羽曳野まち歩きガイドの会、四十四の会、羽曳野市教育委員会)

令和4年度 公開シンポジウム「地域住民とともに取り組む地域活性化」

【とき】2月18日(土) 13:00～15:30

【場所】LIC はびきの ホールM (YoutubeでもLIVE配信します)

【申込】IBUウェブサイトの公開シンポジウムの応募
フォームから申し込みください。

【定員】300人 [事前申込必要・先着順]

【費用】無料

【問合せ】四天王寺大学 地域連携推進センター

☎072-956-3345



第1部 基調講演

「ネットワーク社会における地域まちづくり」
久 隆浩(近畿大学総合社会学部環境・まちづくり系専攻 教授)

第2部 話題提供

「産業・商品から見た羽曳野の魅力とポテンシャル」
天野 了一(四天王寺大学 経営学部 教授)
「観光をとらえた地域の活性化—地域人材の発掘」
大谷 常一(一般財団法人 大阪はびきの観光局 理事長
㈱よしもとデベロップメント代表取締役)

第3部 ディスカッション

「地域住民とともに取り組む地域活性化」
シンポジスト 久 隆浩・天野 了一・大谷 常一
総合司会 宮脇 敏哉(地域連携推進センター 副センター長)

《主催》四天王寺大学、四天王寺大学短期大学部、羽曳野市、羽曳野市教育委員会